

KBC映像組合新聞

E-mail: kbceizo uni@r2.dion.ne.jp

今年こそベア獲得を 回答日は4月2日(水)です

そもそも春闘って....

KBC映像労組は労連統一の提出日から遅れて3月17日(月)に春夏闘要求を会社に提出しました。また、回答指定日は労連統一の二次回答指定日に合わせ3月26日としていましたが、団交の席で会社からの要望を受け入れ4月2日を回答日としたことまでは前号でお伝えしました。これでようやくKBC映像労組も春闘に突入したわけですが、そもそも春闘やベアとは何なのか。組合結成当初は新聞や大会で何度もお伝えしましたが、最近ばかりこの事に触れることも無かったので、本日はこの基本的な部分についてお伝えしたいと思います。

ベアとは「ベースアップ」の略で「給料の底上げをしてくれ」と要求するたたかいのことです。正社員の基本給は、KBC映像の場合「年齢給」と「職能給」で構成されています。これは階段表があり、4月には定期昇給といって、年齢給が1つ上がり職能給も1つ上がります(以前は人事評定の結果で職能給の上がり方は変化していました)。しかしながら、物価の上昇などもあって、定期昇給だけでは足りないのが現実です。KBC映像の場合それ以前に低すぎますが。そこで、「4月からの新しい給料になるときに階段表そのものの金額を上げて、全体の給料のベースを上げてくれ」と会社に要求するのがベースアップです。また、春闘=ベースアップという認識でも間違いではありませんが、春闘では賃上げだけでなく、「労働時間の短縮」や「労働環境の改善」なども要求します。単組の場合だと「有期雇用者の正社員化」も重要な要求として会社に提出しています。

このような「給料を上げてくれ」という要求を個人で会社に対して行っても相手にされないのがほとんどです。そのために労働組合という組織があり、労働者が力を合わせて会社と対等な立場で交渉を行うのです。すなわち、

春闘 = (ひとりでは弱い労働者の力を結集した)労働組合のたたかいなのです。

組合員全員が団結して運動を行い、団結した力を会社に見せつける事が、私たちの労働条件を向上させ、生活にゆとりを生むことに繋がります。この事は仕事にもいい影響を及ぼし、会社の利益にも繋がってくるのだと執行部は考えます。

まずは、会社に現場の声を届けるためにも、職場ごとに職場新聞の発行をお願いします。

【今後のスケジュール】

3月26日(水)

労連統一 春闘要求二次回答指定日

4月 2日(水)

春夏闘要求 一次回答日

(組合新聞はインターネットでも見るができます。『KBC映像労組』で検索して下さい。)

安定した雇用を勝ち取ることが会社を守ることにつながる